

# 中央小だより

## 〈中央小の教育〉

未来の自分のためにチャレンジ  
かしこく・なかよく・たくましく

## 中央小学校の人権の取組！

毎年12月4日～10日を、人権週間と言います。自分もお友だちも一人ひとりが違うことを知り、それぞれの違いを大切にすることを考える一週間です。

中央小学校でも「人権」について考える取組を行っています。

- 1 音楽集会・・・11月の音楽集会では手話を使って歌を歌いました。  
全校が校庭に集まり、「ありがとうの花」を歌いました。
- 2 人権に関するDVDを視聴・・・視聴後、学級ごとに人権について、考えます。
- 3 人権のお話・・・校長から「人権って何？」についてのお話をします。



### <校長の話>

皆さんは、この言葉を見たことがありますか？

「おのれのほっせざるところは、ひとにほどこすことなかれ」

これは、階段の踊り場に掲示されている言葉です。この言葉の意味は、「自分がされていやなことは、人にはしない」ということです。

友達や先生、みんなのおうちの人など、皆さんと一緒に生活している人が毎日、元気に笑顔で生活するために、皆さん一人一人に守ってほしいことです。

いま、校長室には、児童の皆さんが「こんな学校にしたい」という絵が掲示されています。その中に書かれている言葉を紹介したいと思います。

「笑顔であいさつができる学校」「いじめのない学校」「笑顔あふれる学校」「みんなが笑顔になれる学校」「元気いっぱい中央小学校」「元気よく登校できる」「たのしく通える」「自分で判断して行動できる学校」「生き物や魚がゆたかな学校」「きれいな校庭」などです。

それでは、どうすれば、このような学校にできるでしょうか？

これは、校長先生や学校の先生だけががんばってもできません。児童の皆さんの力も必要です。皆さんのおうちの人や地域の人など、学校にかかわる全ての人が協力しないとできません。

校長先生の目指す学校は

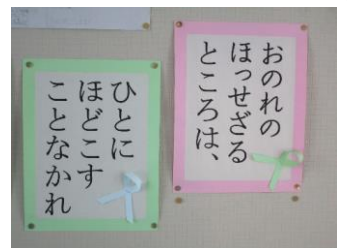
「児童の皆さんが通いたいと思える学校」「保護者の皆さんが通わせてよかったと思える学校」

「先生方が勤務できてよかったと思える学校」「地域の人達が協力できてよかったと思える学校」です。

そのために、校長先生は、皆さんに笑顔であいさつしようと思います。学校がきれいにするために、草を取ったり、落ち葉を掃いたりしたいと思います。元気いっぱいの学校にするために校長先生自身も健康に心がけて、元気いっぱいいたいと思います。

皆さんも、中央小学校が今まで以上に楽しくて、通いたくなる学校にできるように、自分ができることを自分で考え、判断し、実行してみてください。自分も、友達も、先生もみんなが元気いっぱいの学校にしていくことが、人権を守る第一歩です。

みんなの力で中央小学校を元気いっぱいの学校にしていきましょう！



中央小のホームページには、学校紹介のほか、予定表や学校通信、毎日の学校の様子をアップしている「学校日記」があります。タイムリーに掲載していきますので、是非ご覧ください。（右のQRコードからご覧いただけます）

※「玉村町立中央小学校」で検索してください。

